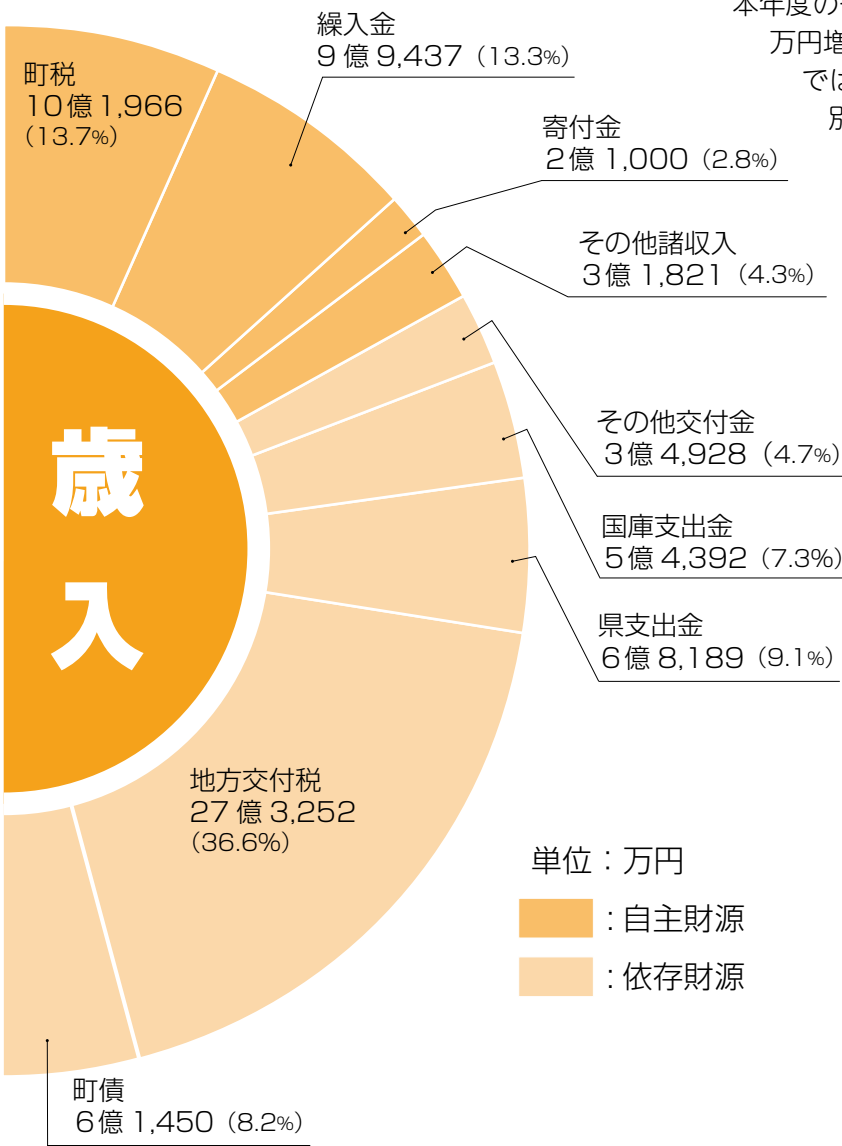


過去最大

令和7年度一般会計当初予算額は

74億6,435万円

令和7年度予算が第1回町議会定例会で可決されました。本年度の一般会計当初予算は、前年度に比べ、6億7,465万円増の74億6,435万円です。では、今年度の予算の使いみちについて、歳入歳出別にみてみましょう。（予算額は、1万円未満を四捨五入しています。）



単位：万円
■：自主財源
■：依存財源

町が自主的に収入することが出来る財源のうち、町税収入（町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税）は前年度比7・4%増の10億1,966万円。

国・県支出金は4億6,047万円の増

また、ふるさと納税寄附金の増額により寄附金が、前年度比21・4%増の2億1,000万円。ほかに繰越金や保育料などの分担金および負担金などを加えた自主財源は、全体の34・1%にあたる25億4,224万円です。

一方、地方交付税、国・県支出金、町債などのように、その調達を国や県などに依存している依存財源は49億2,211万円と全体の65・9%を占めています。さまざまなまちづくりに使われる地方交付税は、前年度比4・2%増の27億3,252万円。一定の事業などにに対し、国や県から補助金や負担金として支払われる国・県支出金は、前年度比60・2%増の12億2,581万円。町が行う事業や地方交付税の不足分などを補う財源として借りる町債は、前年度比10・7%減の6億1,450万円です。

会計別の予算額

区 分	予算額
総 額	99 億 6,929 万円
一般会計	74 億 6,435 万円
特別会計	17 億 6,029 万円
国民健康保険	12 億 5,303 万円
後期高齢者医療	3 億 6,210 万円
診療所事業	1 億 738 万円
訪問看護ステーション事業	3,778 万円
公営企業会計	7 億 4,465 万円
水道事業	4 億 8,576 万円
町営浄化槽整備推進事業	2 億 5,889 万円

特別会計

特別会計は7,591万円の減

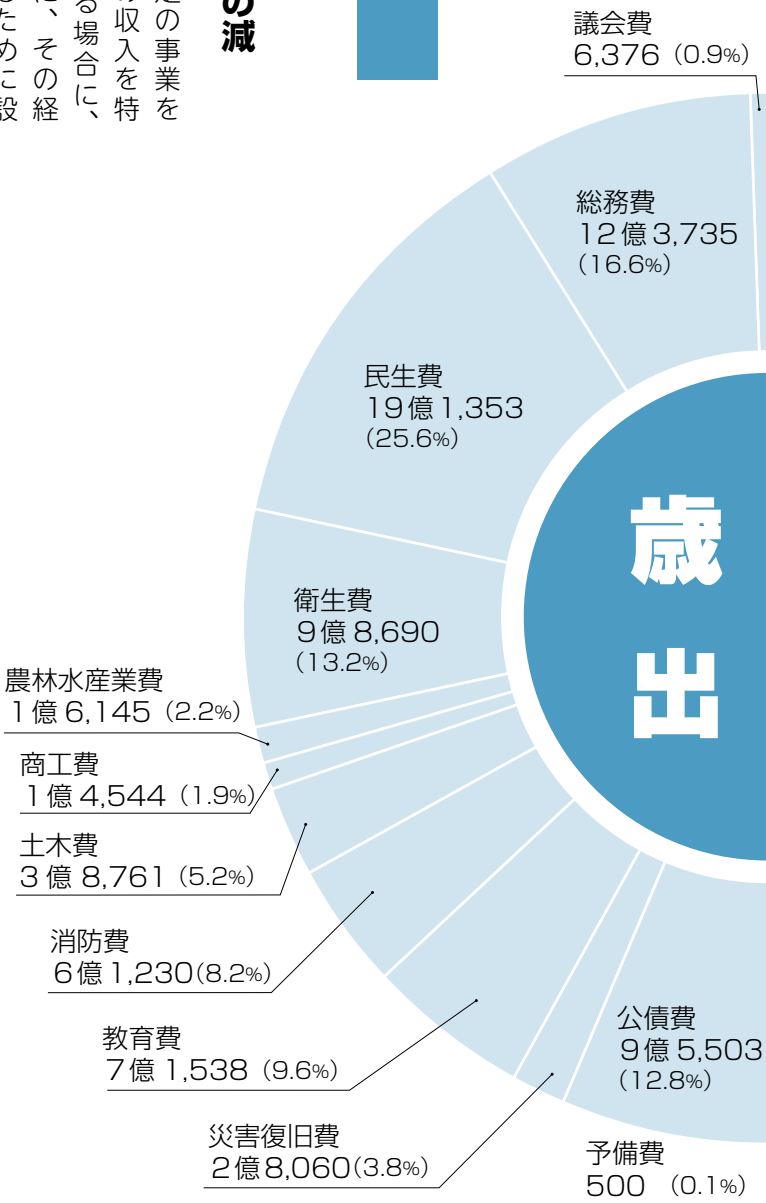
特別会計は特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合に、一般会計とは別に、その経理を明らかにするために設けた会計です。

歳出

災害復旧費は2億8,030万円の増

歳出予算では、浅里地区地滑りに伴う町道および林道災害復旧工事を行うため、災害復旧費は、前年度より大幅増の2億8,060万円。また、津波避難タワー整備や木造住宅耐震補強補助事業などを行う消防費は前年度に比べ4・2%増の6億1,230万円計上しています。

歳出



◆議会費

町議会議員の議員報酬や議会映像インターネット配信に係る費用など

◆総務費

町長や総務課、企画調整課などの職員の給与や庁舎の管理、交通安全、防犯対策、選挙、町民バスの運行など

◆民生費

児童や高齢者、障がい者への福祉事業や保育所の運営、福祉課職員の給与など

◆衛生費

ごみ処理やし尿処理などの環境に対する経費、病気を予防するための検診などの健康づくりに対する経費

◆農林水産業費

農業委員会委員への報酬、農道や林道の新設・修繕など農林水産業に対する経費

◆商工費

商工業や観光の振興、ウミガメ公園や飛雪の滝キャンプ場の管理など

◆土木費

道路の維持補修や、港湾や輪中堤、防潮水門の管理など

◆消防費

消防団活動や熊野市に委託している広域消防の分担金、防災対策事業の経費など

◆教育費

幼稚園や小学校、中学校の運営や教育施設の管理・運営、教育委員会職員の給与、文化活動やスポーツの振興など

◆公債費

事業を進めるため、借り入れた町債を返済する経費